

令和5年度 学校評価の評価項目・評価指標・目標値

項目	小項目 (重点目標)	評価指標	目標値
教育課程・学習指導	確かな学力の定着・向上	【指標1】基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標2】思考力・判断力・表現力が身に付いている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標3】家庭学習の習慣が身に付いている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定 生活・学習習慣調べで、各学年の目標時間 (低学年30分・中学年40分・高学年60分)を 全ての学年で上回る
		【指標4】教科等の学習において文章にまとめる、全体の場で発表するといった言語活動を積極的に取り入れている。	教職員の80%以上が肯定
		【指標5】児童一人一人の力を伸ばすため、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標6】読書習慣が身に付いている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
	心の教育の充実	【指標7】思いやりのある児童が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標8】体験活動等を通じて、ボランティアの精神や地域を愛する心情が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	【指標9】気持ちのよい挨拶ができる児童が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標10】清掃や身の回りの整理・整頓ができる児童が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
	規範意識の高揚	【指標11】学校のきまりや交通ルールを守れる児童が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
安全管理・信頼関係の構築	安全・安心な学校づくりの推進	【指標12】健康で安全な生活を送ろうとする児童が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
	人権・同和教育の推進	【指標13】いじめや差別に気付き、いじめや差別をしない、差別を許さない児童の育成に努めている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標14】望ましい集団活動を通して、他者にかかわろうとする児童が育っている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
	よりよい人間関係づくり	【指標15】児童との信頼関係の構築に努めている。	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
情報提供	開かれた学校づくり	【指標17】地域や来校者に温かく接したり、声をかけたりして、学校に立ち寄りやすい雰囲気をつくっている。	教職員、保護者の80%以上が肯定
		【指標18】学年通信やホームページ等で、学校の取組や様子を伝えることができている。	教職員、保護者の80%以上が肯定 学校HPの月平均アクセス数が300件を上回る
研修	教職員の資質・能力の向上	【指標19】児童一人一人の力を伸ばすため、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めている。(再掲)	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標20】教科指導や課外活動等を通じて、認め合い、支え合い、高め合う仲間づくりに努めている。(再掲)	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標21】いじめや差別に気付き、いじめや差別をしない、差別を許さない児童の育成に努めている。(再掲)	教職員、保護者、児童の80%以上が肯定
		【指標22】自己研修に努めるとともに、校内・校外研修にも意欲的に参加している。	教職員の80%以上が肯定
組織運営	校内組織の充実	【指標23】学校の教育目標の具現化に向け、教育計画の立案・実践・評価・改善を行うことができている。	教職員の80%以上が肯定
		【指標24】報告・連絡・相談を密にして、組織として問題に対応することができる。	教職員の80%以上が肯定
		【指標25】管理規則に基づき、適切に情報管理できている。	教職員の80%以上が肯定